

教室に 「社会」と 「リアル」を。



授業スライド+ワークシートのセットで、授業教材の準備が不要!

授業実施マニュアル



- 1 丁寧な導入向けコミュニケーションによる、「カリキュラム調整」「授業打合わせ」の省人化
- 2 高品質なアントレ教育の教材提供/授業支援による、「授業準備」・「授業時間」の省人化
- 3 学校横断型の授業研究支援による、「校内研修、校内や校務としての勉強会」の省人化

カードゲームなど高品質な教材



2024年度 実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社コエルワ

【サービス名】
Hokkaido EPS for High School

【支援項目】
2.授業、3.授業準備、11.研修等

2025年 * 月



教室に「社会」と「リアル」を。

「生きる」につながるアントレプレナーシップ教材

授業スライド+ワークシートのセットで、授業教材の準備が不要!

授業実施マニュアル



カードゲームなど高品質な教材



- 1 丁寧な導入向けコミュニケーションによる、「カリキュラム調整」「授業打合わせ」の省人化
- 2 高品質なアントレ教育の教材提供/授業支援による、「授業準備」・「授業時間」の省人化
- 3 学校横断型の授業研究支援による、「校内研修、校内や校務としての勉強会」の省人化

サービスの機能的特徴

- 高品質な教材提供だけに留まらず、事前に導入に向けた丁寧なコミュニケーションを行い、来年度以降も継続した利活用を促すことも企図した学校横断型の授業研究支援までをワンストップで提供することで、教員に負担をかけずにアントレ教育を効果的に実践する機会を提供。
- 学校ごとに、専門性の高い担当コーディネーターを設置することで、単なるアントレプレナーシップ教育の授業実践ではなく、総合的な探究の時間の高度化や、アントレ教育を学校全体で取り組んでいくための素地の構築。
- アントレプレナーシップ教育における幅広く・充実したテーマの教材を、即時可能な授業スライド等の形で丁寧な授業実施。
- マニュアルとセットで学校に提供します。これらを起点に生徒個別/グループの端末を活用した探究活動が可能。
- 学校横断型の授業研究支援を行うことで、アントレプレナーシップ教育に対して意欲的な教員ネットワークの創出にも寄与し、省力化のみならず、（北海道全域の）学校の教育活動の質の向上を目指す。

- 本サービスを通して、「2.授業」「3.授業準備」「11.研修等」の3つの領域における学校等教育機関の働き方についての省人化を実現。

本サービスで取り組む課題

本サービスによる解決策

1

総合的な探究の高度化に向けた、カリキュラム調整の省人化

アントレプレナーシップ教育（以下、アントレ教育）のような新たな取り組みを既存の総合的な探究の時間の正規の授業の中で導入する際に、**既存のカリキュラムとの調整に大きな工数がかかってしまうため**、新しい取り組みを導入することをためらうケースもあります。



導入向けコミュニケーションにより、
「カリキュラム調整」「授業打合わせ」を省人化

2

専門性を要する領域における
指導案作成・教材研究等の授業準備負荷軽減

探究的な学びのゴールをプレゼンテーションではなく実践的な活動に転換することを企図して、アントレ教育の普及が国策でも掲げられていますが、現在の教員が、新たに「**アントレ教育**」についての**専門知識を学び、授業の準備を行うことは大きな負担**となります。



高品質なアントレ教育の教材提供/授業支援により、
「授業準備」・「授業時間」の省人化

3

授業内容に対する研修機会や好事例の共有機会の設置

既にアントレ教育を推進している学校も一部ありますが、そうした学校でも、**授業に対する校内での研究会や実践事例の共有、研修機会の整備がまだ進んでいない**ことが多く、授業の改善は教員個人の裁量や努力に委ねられています。



学校横断型の授業研究支援により、
「校内研修、校内や校務としての勉強会」の省人化

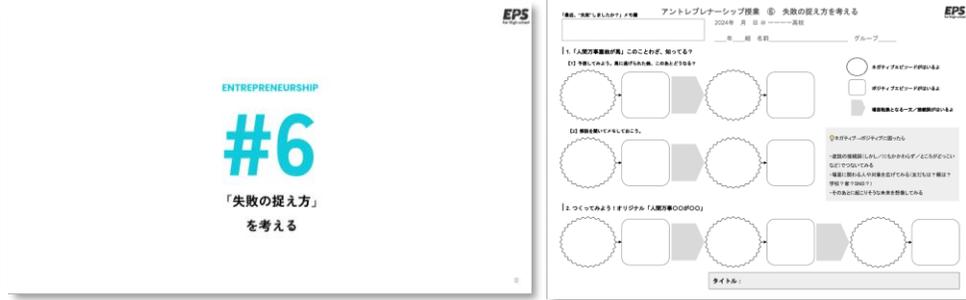
- 12校にサービスを利用いただき、本補助事業を実施

No.	設置者	区分	学校名
1	北海道教育委員会	公立	北海道弟子屈高等学校
2			北海道大樹高等学校
3			北海道標津高等学校
4			北海道上士幌高等学校
5			北海道札幌国際情報高等学校
6	学校法人北海道立正学園	私立	旭川実業高等学校
7	喜茂別町教育委員会	公立	喜茂別中学校
8	森町教育委員会	公立	森中学校
9			砂原中学校
10	上士幌教育委員会	公立	上士幌中学校
11	斜里町教育委員会	公立	ウトロ中学校
12	中富良野町教育委員会	公立	中富良野中学校

導入の事例 | 森中学校

導入テーマ：
 授業支援を希望するテーマ：「失敗の捉え方を考える」

導入支援ツール



授業スライド

ワークシート



指導案



教材

授業の流れ (100分)

1. クイズ! 失敗は成功のもと
2. 失敗をポジティブに言い換えよ!ワーク
3. 失敗を「捉え直す」
4. 挑戦と失敗

授業の様子



- サービス導入にあたって、「導入時期」「導入方法」の2つに課題があり、学校現場に合わせた導入時期や、カリキュラムとの接続が必要であると考えている。

課題として挙げられた声

解決策

1

導入時期

- 授業計画が完成している時期での導入は、プログラムに興味があっても、授業計画を変更することになり教員にとって、大きな負担となる。

- 導入の前年度末に、プログラムの提案を行い検討いただく必要がある。

2

導入方法

既存カリキュラムとの接続

- アントレプレナーシップに限定した授業は取扱可能な科目が横断的であり、担当教員を決めにくい。（総合か？社会科か？等）

- キャリア教育や総合／探究・社会科等のそれぞれの科目や単元の文脈にあわせた形で、プログラムを提案する。

3

導入方法

授業の事前体験の場の設計

- 事前に授業や生徒が受講する様子を詳細にイメージできないため、導入に踏み出せない。

- 教員用の体験会の実施や、実際の授業動画の公開等を行い、生徒が受講する/教員が授業を行うイメージを持ちやすくする。

アンケートの結果① | 授業・教材の評価について

「今回のような授業を、また生徒に受けさせたいと思いますか？」という質問に対して、90%が「思う／どちらかと言えばそう思う」と回答

90%

- 今まで取り組んだことがなかったアントレプレナーシップについて授業をする機会を作っていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。是非またこのような機会を活用させていただきたいと思っています。
- これからの社会に求められる力がついたと思われます。授業を通じて「本質」とは何かを知り、目標・目的、仮説が最後のまとめにつながり、そのことについて考え、調べることができるようになっていた。今後は様々な場面でもアントレプレナーシップを学べる機会を増やせたらいいと思う。
- 生徒にとっては、近い将来、現実的になる可能性が高い内容で、テーマに迫るプロセスが実生活に即した流れであったため、理解しやすかったのではないかと思います。

今回ご提供した教材を活用して、先生自身が授業をしてみたいと思いますか？という質問に対して、70%が「思う／どちらかと言えばそう思う」と回答

70%

- 生徒たちも新たな視点から株式会社について考えることができる様子が見られました。来年度以降もぜひ講演して頂きたいと思っています。

アンケートの結果② | 本サービスの効率性や効果に関する評価について

『本サービスにより、アントレプレナーシップのような新たな潮流を取り入れた授業に関する「授業準備」・「授業時間」の省人化が図れたと感じたか?』という質問に対して、80%が「思う／どちらかと言えばそう思う」と回答

80%

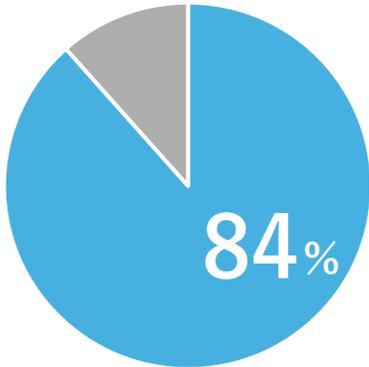
- ・ 7つのテーマの中から、自由にテーマを選んで授業で活用できるため、空きコマなどにも対応しやすい。
- ・ スライドが丁寧に準備されていて、現場の教員も使いやすい。
- ・ 事前の打ち合わせでは、本校の要望に対して柔軟に対応していただきました。

「本サービスにより、アントレプレナーシップのような新たな潮流を取り入れた授業に関して、校内での研修や勉強会を行うよりも効率的に、アントレプレナーシップ教育やその教材についての理解を深めることができたと思うか?」という質問に対して、80%が「思う／どちらかと言えばそう思う」と回答

80%

- ・ 手前味噌で素人が教材研究をするよりも、専門性の高い人たちから教材を提供してもらう方が子どもたちにとってもより身になる授業になるのではないかと思います。教員自らが学んで子どもたちに学びを提供することは、その幅広さから網羅することが年々難しくなって来ていると感じていますが、そんな中でこういったサービスがあってくれることは、先生にとっても子どもたちにとってもありがたいことだと思います。

今回のような授業をまた受けたいと思うか？

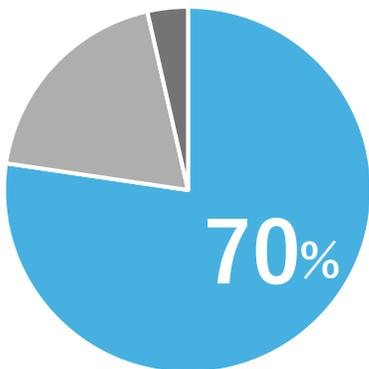


■ 思う ■ 思わない／どちらとも言えない

「今回のような授業をまた受けたいと思うか？」という質問に対して
84%が「思う／どちらかと言えば思う」と回答

- ・ クイズ形式にしてくれたり、盛り上げるのが上手で、声も聞きやすかったし、わかりやすいスライドも見れてとても楽しかったです。
- ・ 最初から最後まで楽しめるように授業を進めてくださったので、飽きることなく聞くことができました。
- ・ 説明もわかりやすく、楽しく学べてよかったです。この話を活かして自分から挑戦し、失敗もたくさん経験していきたいと思いました。

今回の授業で、新しく知ったことはあるか？



■ あった ■ どちらとも言えない ■ なかった

「今回の授業で、新しく知ったことはあるか？」という質問に対して
70%が「思う／どちらかと言えば思う」と回答

- ・ アントレプレナーシップという言葉の意味を知ることができました。
- ・ 考え方によっていろいろな見方ができて、悪いことばかりじゃないなと思った。アントレプレナーの考え方を大切にしていきたい。
- ・ みんなと違うことをだんだんダメなのかな？って思うことが多くなっていましたが、アントレプレナーシップの変化をチャンスにして自ら価値観を生み出す大切さを知れてとても安心しました。



会社名 株式会社コエルワ (<https://coeruwa.com/>)
2024年4月1日にあしたの寺子屋より社名を変更

住所 北海道札幌市中央区南一条西2丁目1-2
木NINARU BLDG. TREEBASE FD-1

事業内容 サマースクール / ウィンタースクールの運営
教育コンテンツ開発、奨学金制度の運用など

設立 2020年10月9日

代表者 阿曾沼 陽登 (代表取締役CEO)

主要顧客 主に北海道内の自治体様、中学・高等学校様
(札幌市様、上士幌町様、標津町様など約20自治体)
プログラムの共同開発を行っている企業様
(株式会社日本総研様、TSP太陽株式会社様など)

従業員数 19名 (業務委託・インターン等含む)